

<Japan Buy-out Deal Conference in 浜松>

企業価値向上シンポジウム**～製造業の海外展開、事業再編、事業承継における戦略的視点～**

謹啓

時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。この度、浜松にて、「企業価値向上シンポジウム」を開催することになりましたのでご案内させていただきます。企業の競争力強化のための戦略的視点が重要になってきている中で、静岡県を中心とする東海地区の企業の経営者の皆様に有益な情報をお伝えできればと思います。

近年、M&A (mergers & acquisitions) に加え、バイアウトの手法が企業価値向上のための戦略オプションとして認識されつつあります。静岡県を含む中部地区および広域関東圏においても、特に、自動車部品、電子部品、金型・精密、プラスチック形成、プリント基板、電機機器、工具・機械、繊維、食品などの製造業の事例が数多く登場しました。具体的には、未上場オーナー企業の事業承継にバイアウト・ファンドが活用された事例、大企業の事業再編にバイアウトの手法が活用された事例、バイアウト・ファンドのネットワークを活用して海外事業を強化した事例、再生企業がバイアウト・ファンドから資金調達をして抜本的な経営改革を行った事例、などが出てきています。本シンポジウムでは、バイアウトの手法と事例を分かりやすく解説します。

アジアを中心とする海外に拠点を有する企業の経営者、経営改革を行い成長・発展を目指す企業の経営者、後継者問題を抱えるオーナー企業の経営者、業績低迷からの脱却を目指す再生企業の経営者、戦略的 M&A を検討している企業の経営者などにお薦めです。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

開催要領**【日時】**

2013 年 10 月 16 日 (水) 13:10～17:30 (12:40 受付開始)

【会場】

サーラシティ浜松 (浜松市中区砂山町 155-1) 3 階スクエア (JR 浜松駅南口徒歩 5 分)

【参加費】

1 名 18,000 円 (税込)

【主な参加対象】

- 未上場オーナー企業の経営者、上場企業 (子会社を含む) の経営者 (経営企画担当、財務担当、海外事業担当、社長室など)
- 地域金融機関 (地方銀行、信用金庫など)、大手銀行、証券会社 ■弁護士、会計士、税理士などのプロフェッショナル

【お申し込み方法】

申込書での FAX 送信か Web サイト上 (<http://www.jbo-research.com/>) で申込書をダウンロードしメール添付で送信下さい。

Lead sponsors

TMI 総合法律事務所

Co-sponsors

Advantage Partners, LLP

東京海上キャピタル株式会社
TOKIO MARINE CAPITAL CO., LTD.

東海東京証券株式会社

フェニックス・キャピタル株式会社
Phoenix Capital Co., Ltd.

ネクスト・キャピタル・パートナーズ



Riverside



主催：株式会社日本バイアウト研究所

協力：株式会社三菱東京 UFJ 銀行 株式会社中央経済社

URL: <http://www.jbo-research.com/>

【お問い合わせ先】 jbori@jbo-research.com (担当：杉浦)

プログラム

受付開始 (12:40)

基調講演 (13:10-13:55)

テーマ：製造業における事業再構築・事業承継への対応に伴う法的留意点

講演者 TMI 総合法律事務所 弁護士 高原達広氏

マーケット・レビュー (13:55-14:30)

テーマ：製造業のバイアウト案件の動向 ～中部地区および広域関東圏の案件を中心として～

株式会社日本バイアウト研究所 代表取締役 杉浦慶一

<概要>

製造業（自動車部品、電子部品、金型・精密、プラスチック形成、プリント基板、電機機器、工具・産業機械、繊維、食品）を中心としたバイアウト案件の動向について解説する。特に、中国や東南アジアを中心とする海外事業の強化が実施された案件、オーナー企業の事業承継や資本再構築を伴う案件、大企業の事業再編による子会社独立や事業部門売却を伴う案件などを、具体的な事例を交えて説明する。また、エグジット案件（株式公開、M&A、その他）の動向について説明する。

休憩 (14:30-14:40)

事例紹介① (14:40-15:00)

テーマ：海外工場を駆使してデジタルカメラの開発・製造を行うザクティの支援

～大企業子会社から中長期的に発展可能な中堅独立企業への変革～

アドバンテッジパートナーズ LLP ディレクター 村上大輔氏

<概要>

大手電機メーカーを筆頭に日本の製造業は厳しい事業運営が続いている中、早くから海外製造拠点を活用し、一時はデジタルカメラの生産台数ベースで世界シェア 3 割を誇ったザクティも、類に漏れず厳しい事業環境下で経営されてきた。今年 4 月の親会社からの独立を契機に自立した事業運営が可能となったものの、真の競争にさらされるのはこれからであり、安定的な経営基盤の確立が急務となっている。企業の変革をリードするチェンジエージェントとしてプライベート・エクイティ・ファンドが如何に機能し、本社がある大阪、工場があるインドネシアそれぞれの現場において課題解決に取り組んでいるのか、具体的な支援の一端を紹介する。

事例紹介② (15:00-15:15)

テーマ：海外事業の強化により企業価値向上に成功したポッカ

～在アジア海外事業会社への日本本社によるガバナンスを強化することで海外戦略を再構築～

アドバンテッジパートナーズ LLP ディレクター 山下明氏

<概要>

上場会社であったポッカは、伸び悩む国内市場からの脱却や更なる成長のための戦略見直しや経営改革を企図し、アドバンテッジパートナーズがサービスを提供するファンドの支援を受けて非上場化を伴う MBO を実施。海外売上と収益改善を目指し、AP の香港子会社の協力を得て、海外戦略を担っていた海外上場子会社も非上場化し、本社のガバナンスを強化し、販売体制の再構築、海外不採算工場の売却、月次業績管理手法の改善等を実施。海外収益を大幅に増加させることに成功した。

事例紹介③インタビュー・セッション (15:15-15:50)

テーマ：アジア制覇・グローバルで業界 No. 1 への挑戦 ～非破壊検査・マーキングの総合メーカー マークテックにおける海外展開支援～

キャス・キャピタル株式会社 パートナー、マークテック株式会社 取締役（営業部管掌、営業部長） 栗原一博氏

マークテック株式会社 取締役（管理部門管掌、経営企画室長） 西本圭吾氏

聞き手：株式会社日本バイアウト研究所 代表取締役 杉浦慶一

<概要>

あらゆる企業が熾烈なグローバル競争に巻き込まれる中、世界で通用する製品・技術を有しながら、スピーディーな海外展開ができていない企業が多く存在する。キャス・キャピタルは「日本に強い会社をつくる」ことを目的に設立された会社で、近年は、海外進出支援に主眼を置き、経営陣の派遣を通じて企業の海外展開を後押ししている。本セッションでは、非破壊検査とマーキングの総合メーカーであるマークテック（東京都大田区）を事例とし、同社で営業と企画の最前線で海外事業に取り組む二人が、マークテックが世界で No. 1 になるための課題と実践について解説する。

コーヒーブレイク (15:50-16:10)

パネルディスカッション (16:10-17:25)

テーマ：日本の製造業の新ステージへの飛躍に向けて ～中堅・中小製造業の企業価値向上戦略～

討論者 インテグラル株式会社 パートナー 水谷謙作氏

ベアリング・プライベート・エクイティ・アジア株式会社 ヴァイス・プレジデント 安立欣司氏

ポラリス・キャピタル・グループ株式会社 パートナー 密田英夫氏

司会者 アーンストアンドヤング・トランザクション・アドバイザリー・サービス株式会社

マネージングディレクター EY Japan プライベート エクイティ リーダー 関根俊氏

<概要>

本セッションでは、製造業の案件の支援に関与しているプロフェッショナルをお招きし、日本の製造業が抱える経営課題、ガバナンス体制の構築、経営体制の強化、海外展開や成長戦略を推進する上でのバイアウト・ファンド活用の意義などについて議論する。また、ビー・ピー・エス（事業内容：封入封緘機の製造）、ファイベスト（事業内容：光通信用部品の開発・製造）、LADVIK（事業内容：精密ばね・精密プレス製品の製造）、日本オイルポンプ（事業内容：産業機械向けポンプ、モーター等の油圧機器の開発・製造・販売）などの事例を題材とし、対象企業が抱えていた経営課題やリーマン・ショックや震災（東日本大震災やタイの洪水）などを起因とする市場環境の激変に対してどのように対応したのかについても語る。

クロージングスピーチ (17:25-17:30)

* 本プログラムの内容は予告なく変更される場合がありますので予めご了承願います。